

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

- 変更内容 受託中止
- 変更日 2024年10月3日(木) ご依頼分まで
- 対象項目

項目コード	検査項目	中止理由	代替項目	群臨コード (対象施設のみ)
3400 3	HBs 抗体	項目集約のため	A003 7 : HBs 抗体 [CLEIA]	中止：コード無し 代替：0744
3438 2	HBc 抗体		A059 6 : HBc 抗体 (IgG)	中止：0748 代替：0689

● HBs抗体[←]

		HBs抗体 (PHA)	
		陽性	陰性
HBs抗体 [CLEIA]	陽性	44	0
	陰性	6	12

(n=62)

陽性一致率：88.0% (44/50)
陰性一致率：100.0% (12/12)
全体一致率：90.3% (56/62)

● HBc抗体[←]

		HBc抗体 (PHA)	
		陽性	陰性
HBc抗体 (IgG) [CLEIA]	陽性	50	0
	陰性	0	11

(n=61)

陽性一致率：100.0% (50/50)
陰性一致率：100.0% (11/11)
全体一致率：100.0% (61/61)

総合検査案内電子版



■ 変更内容 検査内容変更

■ 変更日 2024 年 12 月 6 日（金）ご依頼分より

※ビタミン B₁、ビタミン B₂ の容器変更については、2024 年 12 月以降、順次の切り替えをさせていただきます。

※容器 AZZ（旧 Z）変更については、順次の切り替えをお願いいたします。

■ 変更項目

CK-MB（CPK-MB）	肺サーファクタントプロテイン D（SP-D）	Zn（亜鉛）
CK（CPK）アイソザイム	ビタミン B1	リチウム
LD（LDH）アイソザイム	ビタミン B2	HBs 抗原（HQ）
ALP アイソザイム（IFCC）	鉄（Fe）	アデノウイルス DNA 定性
アミラーゼアイソザイム	総鉄結合能（TIBC）	TARC（Th2 ケモカイン）
リボ蛋白分画	不飽和鉄結合能（UIBC）	薬剤によるリンパ球刺激試験（DLST）
コレステロール分画	Cu（銅）	

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	群臨コード (対象施設のみ)
3746 0	CK-MB (CPK-MB)	項目コード	A672 5	3746 0	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、項目コード、検査方法、基準値、保存（安定性日数表記）、報告範囲、報告桁数の変更（※詳細については、8 ページをご参照ください）	現：7985 新：7989
		検査方法	CLEIA	CLIA		
		基準値（単位）	男性：5.7 以下 女性：3.1 以下 (ng/mL)	5.0 以下 (ng/mL)		
		保存（安定性）	凍結（21 日）	凍結		
		報告範囲	1.0 未満 1.0～ 299000、 300000 以上	1.0 以下、 1.1～ 999999.9		
		報告桁数	有効 3 桁 整数 6 桁 小数 1 桁	有効 7 桁 整数 6 桁 小数 1 桁		
		JLAC10 コード	血清 3B015-0000 -023 -052	血清 3B015-0000 -023-51		
B146 8	肺サーファク タントプロテ インD (SP-D)	項目コード	A671 6	B146 8	同性能の試薬への変更、項目コード、検査方法、保存（安定性日数表記）の変更（※詳細については、9 ページをご参照ください）	現：0828 新：0865
		検査方法	ラテックス免疫凝集法	CLEIA		
		基準値（単位）	変更はありません	110 未満 (ng/mL)		
		保存（安定性）	冷蔵（28 日）	冷蔵		
		報告範囲	変更はありません	15.0 未満、 15.0 ～ 99900000		
		報告桁数	変更はありません	有効 3 桁 整数 8 桁 小数 1 桁		
		JLAC10 コー ド	血清 3F253-0000 -023 -062	血清 3F253-0000 -023 -052		
E287 9	TARC (Th2 ケモカイン)	項目コード	変更はありません	E287 9	同性能の試薬への変更、保存（安定性日数表記）、報告範囲、総合検査案内備考欄の変更（※詳細については、10 ページをご参照ください）	7958
		報告範囲	10 未満、10～ 99990000	100 未満、100 ～99990000		
		報告桁数	変更はありません	有効 4 桁、整数 8 桁、小数 0 桁		
		総合検査 案内備考欄	血漿はテータ低下が見られますので避けてください。トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください。（&1）	トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください。（&1）		
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 5J228-0000-0 23 -052		

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	群臨コード (対象施設のみ)
結膜ぬぐい液 6635 0 糞便 A287 3 部分尿 A083 9	アデノウイルス DNA 定性	検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	PCR	検出感度の良い試薬 への変更、検査方法、 基準値、所要日数、 保存（安定性日数表 記）、総合検査案内 備考欄の変更（※詳 細については、10 ページをご参照くだ さい）	該当コード 無し
		総合検査 案内備考欄	 他項目との重複 依頼は避けてく ださい。本検査方 法ではコンタミ ネーションの影 響がより大きく なりますので、検 体採取にあつ ては取り扱いに 充分ご注意ください。 （&1）	 測定対象は 1、 2、3、4、5、6、 7、8、11、19、 37 型です。ただ し型判定は実施 できません。結 膜ぬぐい液：患部 をぬぐった滅菌 綿棒を 1mL の PBS または生理 食塩水が入った 滅菌ポリスピ ツ（ARR）に入 れ、そのまま凍結 保存してください。 他項目との 重複依頼は避け てください。本検 査方法ではコン タミネーション の影響がより大 きくなりますの で、検体採取にあ つては取り扱いに 充分ご注意ください。 （ & 1）		
		JLAC10 コード	部 分 尿 : 5F150-1440 -001 -862 結膜ぬぐい液： 5F150-1440 -066 -862 糞便： 5F150-1440 -015 -862	結膜ぬぐい液： 5F150-1440 -066 -851 部分尿： 5F150-1440 -001 -851 糞便： 5F150-1440 -015 -851		

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	群臨コード (対象施設のみ)
3282 5	CK (CPK) アイソザイム	検体量 (mL)	0.5	0.3	適切な検体量へ の変更	0526
3261 8	LD (LDH) アイソザイム		0.5	0.3		0525
3267 2	ALP アイ ソザイム (IFCC)		0.5	0.3		0522
3274 4	アミラーゼ アイソザイム		0.5	0.3		0527
3211 3	リボ蛋白分 画		0.5	0.2		0459
3226 7	コレステ ロール分画		0.5	0.2		—
A021 7	HBs 抗原 (HQ)	総合検査 案内備考欄	不重 他項目との重複依頼 は避けてください。本 検査方法ではコンタ ミネーションの影響 がより大きくなります ので、検体採取にあ たっては取り扱いに 充分ご注意ください。	不 検査方法ではコンタミ ネーションの影響がよ り大きくなりますの で、検体採取にあつ ては取り扱いに充分ご 注意ください。	総合検査案内備 考欄の変更、重 複依頼禁止の追 加	1663
3935 0 3936 9 3937 8 3938 7 3939 6	薬剤による リンパ球刺 激試験 (DLST)	依頼書	覚醒剤原料覚醒剤取 締法	覚せい剤（原料）覚せい 剤取締法	適切な表記へ変 更（各種ガイド ラインの表記）	4001 4002 4003 4004 4005
		総合検査案 内欄外備考 ※薬剤によ るリンパ球 刺激試験 (DLST) の 検体につい て7.8. の文 章	「覚醒剤取締法」別表	「覚醒剤取締法」第三 章および別表		
			覚醒剤原料	覚醒剤		

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	群臨コード (対象施設のみ)
3725 3	ビタミン B ₁	採取容器	PNR (IB g3)	PKF (IB g1)		0574
4329 2	ビタミン B ₂	採取容器	PNR (IB g3)	PKF (IB g1)	遮光対応漏れを防止するため、採取容器、提出容器の変更 ビタミンB ₁ にも遮光マークを追加させていただきます。	0575
		提出容器	PNR (IB g3)	ASS (IB i)		
		総合検査案内備考欄	遮光容器に採血し、よく混和させ、凍結してご提出ください。	(検体のご提出について) 血液は必ず遮光ポリスピッツ (ASS) に移し替え、凍結してご提出ください。		
		検体取り扱い方法	左図の遮光容器に採血し、よく混和させ、凍結保存してください。血液は必ず遮光容器にてご提出ください。	指定の容器に採血し、よく混和させ、必ず遮光ポリスピッツ (ASS) に移し替え、凍結してご提出ください。		
0028 0	鉄 (Fe)	容器	X	Z	弊社標準容器への変更	0435
0038 9	総鉄結合能 (TIBC)					0437
0031 6	不飽和鉄結合能 (UIBC)					0438
3653 3	Cu (銅)					0433
3654 2	Zn (亜鉛)					0445
3807 2	リチウム					0667
※ビタミン B ₁ 、ビタミン B ₂ 新容器情報		※容器記号 PNR (IB g3) 容器容量：真空採血管 4mL 内容：EDTA-2Na 6.75mg 方法：室温 期間：製造から1年6ヵ月				

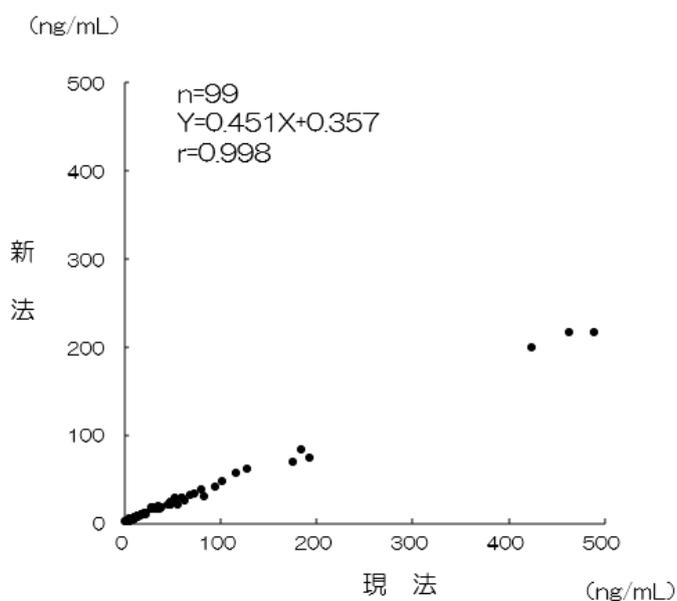
● CK-MB (CPK-MB)

測定試薬の販売終了により測定試薬を変更いたします。これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、保存（安定性日数表記）、報告範囲、報告桁数を変更させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	A672 5	3746 0
検査方法	CLEIA	CLIA
基準値 (単位)	男性：5.7 以下 女性：3.1 以下 (ng/mL)	5.0 以下 (ng/mL)
保存 (安定性)	凍結 (21 日)	凍結
報告範囲	1.0 未満、 1.0~299000、300000 以上	1.0 以下、 1.1~999999.9
報告桁数	有効 3 桁、整数 6 桁、小数 1 桁	有効 7 桁、整数 6 桁、小数 1 桁
JLAC10 コード	血清 3B015-0000-023 -052	血清 3B015-0000-023-051

● 相関図



● 参考文献

(検査方法参考文献) 文献投稿準備中です

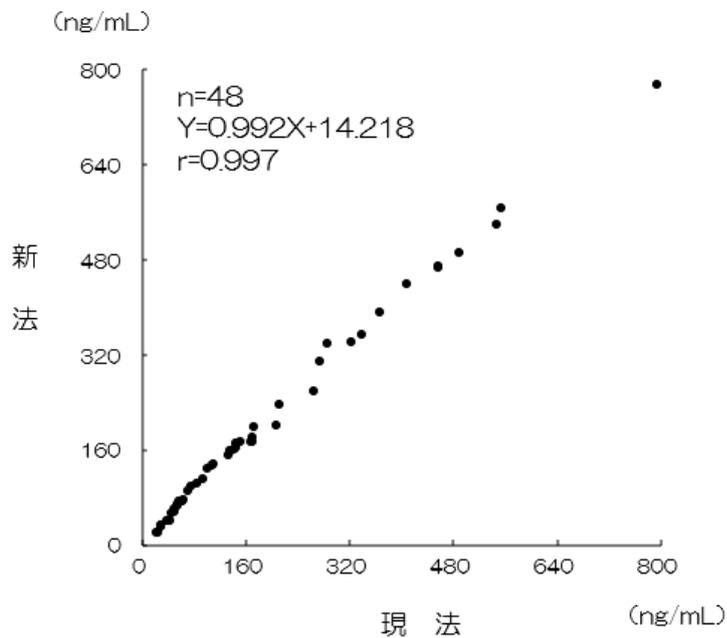
● 肺サーファクタント プロテイン D (SP-D)

同性能の測定試薬へ変更いたします。これに伴い、項目コード、検査方法、保存（安定性日数表記）を変更させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	A671 6	B146 8
検査方法	ラテックス免疫凝集法	CLEIA
基準値（単位）	変更はありません	110 未満（ng/mL）
保存（安定性）	冷蔵（28 日）	冷蔵
報告範囲	変更はありません	15.0 未満、15.0～99900000
報告桁数	変更はありません	有効 3 桁、整数 8 桁、小数 1 桁
JLAC10 コード	血清 3F253-0000-023-062	血清 3F253-0000-023-052

● 相関図



● 参考文献

（検査方法参考文献） 関根 かりん, 他 : 医療検査と自動化 49 (3) : 186~190, 2024.

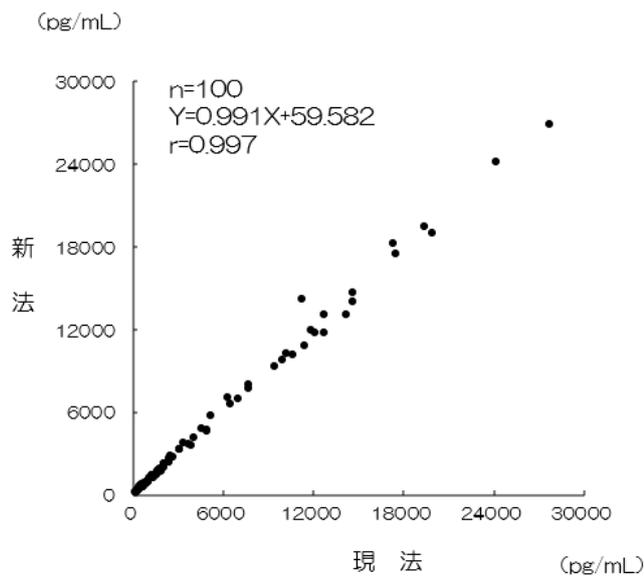
● TARC (Th2 ケモカイン)

同性能の測定試薬へ変更いたします。これに伴い、報告範囲、保存（安定性日数表記）、総合検査案内備考欄を変更させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	E287 9
検査方法	変更はありません	CLEIA
基準値（単位）	変更はありません	6ヵ月以上～12ヵ月未満：1367 未満、 1 歳以上～2 歳未満：998 未満、 2 歳以上～16 歳未満：743 未満、 16 歳以上：450 未満 (pg/mL)
保存（安定性）	冷蔵（28 日）	冷蔵
報告範囲	10 未満、10～99990000	100 未満、100～99990000
報告桁数	変更はありません	有効 4 桁、整数 8 桁、小数 0 桁
総合検査案内備考欄	血漿はデータ低下が見られますので避けてください。 トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください。 &1	トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください。 &1
JLAC10 コード	変更はありません	血清 5J228-0000-023-052

● 相関図



● 参考文献

（検査方法参考文献）安江 智美，他：アレルギーの臨床 34（10）：880～885，2014.

● アデノウイルス DNA 定性

検出感度の良い試薬へ変更いたします。これに伴い、検査方法、基準値、所要日数、保存（安定性日数表記）、総合検査案内備考欄を変更させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	結膜ぬぐい液 6635 0 糞便 A287 3 部分尿 A083 9
検査方法	PCR (リアルタイム PCR)	PCR
基準値 (単位)	部分尿、結膜ぬぐい液、糞便： 検出せず (なし)	結膜ぬぐい液、部分尿、糞便： 陰性 (なし)
所要日数 (日)	2~8	3~9
保存 (安定性)	部分尿：凍結 (28 日) 結膜ぬぐい液、糞便：凍結 (※記載を削除します)	結膜ぬぐい液：凍結 (3 ヶ月) 部分尿、糞便：凍結 (1 ヶ月)
報告範囲	変更はありません	なし
報告桁数	変更はありません	なし
総合検査案内備考欄	重 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1	重 測定対象は 1、2、3、4、5、6、7、8、11、19、37 型です。ただし型判定は実施できません。結膜ぬぐい液：患部をぬぐった滅菌綿棒を 1mL の PBS または生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツ (ARR) に入れ、そのまま凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 &1
JLAC10 コード	部分尿：5F150-1440-001-862 結膜ぬぐい液：5F150-1440-066-862 糞便：5F150-1440-015-862	結膜ぬぐい液：5F150-1440-066-851 部分尿：5F150-1440-001-851 糞便：5F150-1440-015-851

● 相関一致表

		現法	
		陽性	陰性
新法	陽性	12	3
	陰性	0	15

(n=30)

陽性一致率：100.0% (12/12)

陰性一致率：83.3% (15/18)

全体一致率：90.0% (27/30)

- 参考文献 (検査方法参考文献) Lu X, et al : J Clin Microbiol 51 (4) : 1089~1093, 2013.